

申立ての内容	申立てへの対応																				
<p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】 「○学生定員の未充足 …今後、<u>速やかに、学長リーダーシップの下、定員の充足に向けた抜本的な対応が求められる。</u>」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「○学生定員の未充足 …今後、定員の充足に向けて<u>継続的な努力が求められる。</u>」</p> <p>【理由】 平成27年度には、学長リーダーシップの下、人間発達文化研究科を改組し教職大学院を設置することを決定し、平成28年3月に設置申請(平成29年度開設)を行った。 また、経済学研究科で新プログラムを開講し、全研究科で学生・社会人・留学生向け広報活動を行った結果、平成28年5月の修士課程収容定員充足率は2研究科で上昇し、1研究科で超過率10%未満に適正化した。 よって、一定の改善成果に向けて学長リーダーシップを発揮していると考えており、今後も継続的に努力する所存である。</p> <p>人間発達文化研究科の改組計画(H28→29)</p> <table border="1" data-bbox="188 1872 786 2067"> <thead> <tr> <th colspan="2">H28専攻名/入学定員</th> <th colspan="2">H29専攻名/入学定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職教育専攻</td> <td>11</td> <td>教職実践専攻 (専門職学位課程)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>地域文化創造専攻</td> <td>20</td> <td>地域文化創造専攻</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>学校臨床心理専攻</td> <td>9</td> <td>学校臨床心理専攻</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40</td> <td>合計</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	H28専攻名/入学定員		H29専攻名/入学定員		教職教育専攻	11	教職実践専攻 (専門職学位課程)	16	地域文化創造専攻	20	地域文化創造専攻	17	学校臨床心理専攻	9	学校臨床心理専攻	7	合計	40	合計	40	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 修士課程については、3か年に渡り学生定員の未充足(90%未満)が生じているほか、平成28年5月時点では83.1%となっており、恒常的な定員充足に向けて、更なる取組が求められること等を踏まえた文案としているため。</p>
H28専攻名/入学定員		H29専攻名/入学定員																			
教職教育専攻	11	教職実践専攻 (専門職学位課程)	16																		
地域文化創造専攻	20	地域文化創造専攻	17																		
学校臨床心理専攻	9	学校臨床心理専攻	7																		
合計	40	合計	40																		

修士課程の収容定員充足率推移 (H27→28)

研究科名	収容定員	H27. 5. 1現員 (充足率)	H28. 5. 1現員 (充足率)
人間発達文化	80	89 (111. 3%)	84 (105. 0%)
地域政策科学	40	30 (75. 0%)	26 (65. 0%)
経済学	44	42 (95. 5%)	46 (104. 5%)
共生システム理工学	120	74 (61. 7%)	80 (66. 7%)
修士課程 合計	284	235 (82. 7%)	236 (83. 1%)